

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
13082	2	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	栄養教育論Ⅱ (応用・ライフステージ別栄養教育) (Nutrition Education PartⅡ)				
担当教員名	齋藤 さな恵				
授業の概要及び到達目標					
<p>栄養教育論Ⅰに基づき、ライフステージ別栄養教育法および集団を対象とした栄養教育法を実践的に学ぶ科目である。対象者のアセスメント結果から実態の把握、栄養教育の計画・立案と実施、評価を通して栄養教育プログラムを総合的にマネジメントできるような理論と方法を講述する。到達目標：ライフステージ別の栄養教育プログラムを総合的にマネジメントできる理論と方法を身に付ける。</p>					
準備学習等					
<p>栄養教育論Ⅰ、応用栄養学Ⅰの内容を復習し、授業に臨むこと。 第1回：教科書 総論第3章②の食事調査法について予習しておく。 第2回：事前配布資料を予習しておく。 第3回：食事バランスガイドの教科書を読み、予習しておく。 第4回：妊娠期・授乳期の特徴について復習し、教科書 各論第1章①(妊娠・授乳期)を読み、栄養教育のポイントについて予習しておく。 第5～6回：乳幼児期の特徴について復習し、教科書 各論第1章②(乳・幼児期)を読み、栄養教育のポイントについて予習しておく。 第7～8回：学童期・思春期の特徴について復習し、教科書 各論第1章③(学童期・思春期)を読み、栄養教育のポイントについて予習しておく。 第9～11回：成人期の特徴について復習し、教科書 各論第1章④(成人期)を読み、栄養教育のポイントについて予習しておく。 第12～13回：高齢期の特徴について復習し、教科書 各論第1章⑤(高齢期)を読み、栄養教育のポイントについて予習しておく。 第14～15回：教科書 各論第1章⑥⑦⑧を読み、栄養教育のポイントについて予習しておく。</p>					
成績評価の方法	定期試験：90%、授業態度：10%				
テキスト	①「新版ヘルス 21 栄養教育・栄養指導論」 (辻とみ子他：医歯薬出版 (ISBN: 978-4-263-70718-0)) ②「第3版「食事バランスガイド」を活用した栄養教育・食育実践マニュアル」(第一出版 (ISBN 978-4-8041-1358-6)) ③「日本人の食事摂取基準 2015年版」 (第一出版 (ISBN 978-4-8041-1312-8))				
参考図書	その他、資料を適宜配布する				

備 考	<p>オフィスアワーは desknet' s の一覧を確認すること。 小テストは採点、コメント加筆の上、授業内に返却する。 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図を確認すること。</p>
授 業 計 画	
<p>第 1 回：栄養教育のためのアセスメント ・食事調査法の種類と特徴</p> <p>第 2 回：栄養教育の教材となる指針① ・食生活指針</p> <p>第 3 回：栄養教育の教材となる指針② ・食事バランスガイド</p> <p>第 4 回：妊娠期・授乳期を対象とした栄養教育 ・妊娠期・授乳期のライフスタイルや特徴、栄養教育内容 ・妊産婦のための食生活指針</p> <p>第 5 回：乳幼児期を対象とした栄養教育① ・乳児期・幼児期のライフスタイルや特徴、栄養教育内容</p> <p>第 6 回：乳幼児期を対象とした栄養教育② ・保育所・幼稚園での栄養教育</p> <p>第 7 回：学童期を対象とした栄養教育① ・学童期のライフスタイルや特徴、栄養教育内容</p> <p>第 8 回：学童期を対象とした栄養教育②、思春期を対象とした栄養教育 ・栄養教諭制度 ・思春期のライフスタイルや特徴、栄養教育内容</p> <p>第 9 回：成人期を対象とした栄養教育① ・成人期のライフスタイルや特徴 ・国民健康・栄養調査結果から見えること</p> <p>第 10 回：成人期を対象とした栄養教育② ・様々なライフスタイルや場面を想定した栄養教育内容</p> <p>第 11 回：成人期を対象とした栄養教育③ ・成人期に教材として活用できる指針</p> <p>第 12 回：高齢期を対象とした栄養教育① ・高齢期のライフスタイルや特徴、栄養教育内容</p> <p>第 13 回：高齢期を対象とした栄養教育② ・高齢期のライフスタイルや特徴、栄養教育内容 ・介護予防</p> <p>第 14 回：障害者を対象とした栄養教育、不特定多数を対象とした栄養教育 ・障害者のライフスタイルや特徴、栄養教育内容 ・不特定多数を対象とした栄養教育の特徴と実際</p> <p>第 15 回：地域における栄養教育、まとめ ・地域での栄養教育の特徴と実際 ・まとめ</p>	